

精華町立 山田荘小学校



所在地 京都府相楽郡精華町桜が丘二丁目 22 番地 1

電話 0774-72-0545 郵便番号 619-0244

F A X 0774-72-0147

<http://www.kyoto-be.ne.jp/yamadasyou-es/>

山田荘小学校 校歌

作詞

川上 よしかず

作曲

さくら さく う つく しい やま きー
よーい か わ の に しあ わ せ の
ひがーて れ ば ま ど も あ かる い
ま な び や に あ が る よ ろ こ び
か が や く ー れ き し ほ こ る や ま だ し ょ う し ょ
う が っ こ う こ う

山田荘小学校校歌

作詞 川上 よしかず
作曲 川上 よしかず

一 さくら咲く 美しい山 清い川

野に幸の目が照れば

窓も明るい学び舎に

あがる喜び かがやく歴史

誇る 山田荘小学校

二 育ちゆく 精華の南 すこやかに

四つの里の子 手をとって

窓も新し 学び舎で

ひろめる心 きたえるからだ

進む 山田荘小学校

1. 学校の沿革

- 明 5. 学校施行に伴い、山田・乾谷・柘榴に第7小学校、東畑に第6小学校創立
9. 山田・乾谷・柘榴・東畑それぞれ尋常小学校創立
19. 7. 1 尚徳小学校創立（山田・乾谷・柘榴組合創立）
24. 5. 24 町立合併に伴い山田荘村立第一尋常小学校と改称、同日東畑に第二尋常小学校創立
- 大 11. 4. 1 山田荘村立山田尋常小学校を設立、第二尋常小学校を廃し、東畑分校とする
昭 3. 5. 講堂竣工
16. 4. 1 山田荘国民学校と改称
22. 4. 1 学校教育法施行に伴い、山田荘小学校と改称
23. 4. 1 西校舎一棟増築
26. 4. 1 町村合併により、精華村立山田荘小学校と改称
28. 4. 1 本館校舎一棟増築
30. 4. 1 町制施行に伴い、精華町立山田荘小学校と改称
31. 11. 1 分校校舎改築
32. 11. 17 全日本優良学校府代表（健康優良校）として表彰される
34. 5. 1 鉄筋二階建校舎一棟改築
36. 8. 16 プール新設（26m×8m）
11. 5 校歌制定
39. 9. 5 鉄筋二教室増築 更衣室 便所新設
43. 2. 健康教育研究発表会記念に健康像設立
44. 5. こども郵便局表彰される（郵便局長賞）
45. 2. 岩石園作成
12. 鉄筋校舎防音工事完成
46. 7. 冷暖房設備完備
48. 3. 校門前農協撤去 自転車置場設置
8. 校門前花壇作成 非常用階段設置
49. 3. 分校運動場拡張 公民館を特別教室に改修
50. 10. 府健康優良校と学校安全努力校として表彰される
51. 10. 木造二階教室増築
52. 11. 学校給食指導優良校として文部大臣より表彰される
53. 1. 学校給食指導優良校として府教委より表彰される
1. 給食指導優良校として記念碑を設立
54. 4. 障害児学級開設
9. 給食室拡張 分校保健室新設
56. 3. 分校駐車場設置
5. 京都府総合教育センター研究協力校として指定される
9. 児童会の旗及び歌制定
57. 6. こども郵便局表彰（近畿郵便局長賞）
58. 6. こども郵便局表彰（郵政省 貯金局長賞）
60. 4. 交通安全優良学校として表彰される
6. 新校舎起工式
10. 杉島文庫開設
11. 京都府小学校教育研究大会算数研究発表
61. 4. 新校舎移転開校
11. 創立百周年記念式典挙行
63. 10. 16 第43回国民体育大会（ソフトボール成人女子）開始式に参加
平 2. 2. 12 山城地方小・中学校音楽フェスティバルに参加
3. 8. 7 吹奏楽コンクールに参加

- 平 4. 2. 2 全日本音楽フェスティバル西日本大会に参加
8. 7 吹奏楽コンクールに参加
5. 2. 5 京都府小学校教育研究大会音楽究発表
2. 7 全日本音楽フェスティバル西日本大会に参加
3. 31 山田荘小学校東畑分校を廃止し、東光小学校新設
6. 2. 25 第53回 全国教育美術展 学校賞 受賞
9. 23 全国都市緑化きょうとフェアオープニングセレモニーに参加
11. 13 山城地方小中学校音楽フェスティバルに参加（6年全員）
12. 25 「社会を明るくする運動」作文 法務大臣賞受賞
7. 4. 平成7・8年度 京都府小中学校教育実践パイロット校指定（特別活動）
8. 11. 7 平成7・8年度 府教委指定教育実践パイロット校（特別活動）研究発表会
10. 4. 6 北校舎増築（6教室＋コンピュータ室）
11. 9. コンピュータ設置
13. 7. 創立百十五周年記念事業
15. 3. 音楽教室に空調設備設置
11. 27 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業研究発表（精華西中中心）
16. 4. 府小研家庭科研究協力校指定（16～18年度）
「食」に関する指導の実践モデル市町村指定モデル校
17. 11. 18 京都府小学校教育研究大会 家庭科研究発表
18. 11. 17 近畿小学校家庭教育研究大会京都大会公開授業・分科会発表
19. 5. 平成19・20年度 文部科学省指定国語力向上モデル事業
5. 平成19・20年度 京のこども、夢、未来校（『やましろ未来っ子』研究推進校）
20. 4. 平成20年度 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（『やましろ未来っ子』研究推進校）
4. 平成20・21年度 小・中連携教育実践研究実践事業（国立教育政策研究所指定）
21. 2. 京のこども・夢・未来校「ジョイントアップ研究開発」研究発表、文部科学省指定国語力向上モデル事業研究発表
4. 平成21・22年度 「ことばの力育成プログラム開発協力校（『やましろ未来っ子』研究推進校）
11. PTA活動の優秀校として、文部科学大臣賞を受賞
22. 4. 読書活動優秀実践校として、文部科学大臣賞を受賞
23. 1. 平成21・22年度 「ことばの力育成プログラム開発協力校」研究発表
4. 平成23・24年度研究指定事業「京の未来創造校」
24. 4. 平成24～26年度、文部科学省指定 研究開発校「人間力活動科」創設
25. 2. 平成23・24年度、研究指導事業「京の未来創造校」研究発表会
26. 2. 平成24～26年度、文部科学省指定 研究開発学校中間発表会
27. 2. 文部科学省指定 研究開発学校研究発表会
4. 平成27年度 文部科学省「研究開発学校」指定
28. 3. PC教室機器更新（タブレット導入）、普通教室大型モニター設置、無線LAN整備（9教室）
31. 4. 令和元年・2年度 京都府教育委員会研究指定事業「学びの深化プロジェクト実施校」
令 2. 2. 京都府教育委員会研究指定事業「学びの深化プロジェクト実施校」研究発表
2. 4. 精華町立山田荘小学校・精華南中学校学校運営協議会設立

2. 学校教育方針

1. 経営方針

京都府教育振興プラン、精華町「教育大綱」の理念の実現に向けて、学習指導要領、京都府「学校教育の重点」、精華町「学校教育指導の重点」等を踏まえて、「未来を生き抜く力」をはぐくみ、子どもが輝く魅力ある学校づくりを目指す。

2. 教育目標

「夢をもち 心ゆたかに たくましく
学びに向かい 未来を拓く子どもの育成」

3. めざす児童像

- (1) 進んで学び、やりぬく子[なりたい自分 めざすべき姿をイメージできる子]
主体的に学びに向かい、学んだことに価値や手応えを感じ、粘り強く学んでいく児童を育てる。
- (2) 仲よく助け合う子[相手の話を聞き 自分の気持ちをしっかり伝える子]
一人一人の良さや違いを認め合い、思いやりを行動に移し、人とのつながりを大切に協働できる児童を育てる。
- (3) 強く、たくましい子[学びを生かして 伸びる子]
自他の生命尊重を基盤とし、強くしなやかな意志をもち、心身ともに健康で安全に輝いて生きる児童を育てる。

4. めざす学校像

- (1) 子どもたちの夢と希望をはぐくむ学校
- (2) 教職員が学ぶ喜びを発信できる学校
- (3) 教育環境の整備された美しい学校
- (4) 家庭や地域に信頼される学校

5. 学校経営の重点（短期経営目標）

～「未来を生き抜く力」をはぐくむために～

- (1) 日々の教育活動の営みとして、「学びの深化プロジェクト」の研究を推進し、生きて働く「知識・技能の習得」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力の育成」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性の涵養」の資質・能力の育成を目指す。
- (2) 「児童理解部」の機能を発揮し、積極的な教育相談と「教育的予防」の組織的な生徒指導により、子どもが輝く魅力ある学校づくりを目指す。また、特に新型コロナウイルス感染症に起因する様々な悩みやストレスについてのケアに努める。
- (3) 危機管理意識をもつとともに、「京都府の教員に必要な5つの力」の向上に努め、魅力ある教員をめざす。
- (4) すべての教育活動を通して、児童の「自己肯定感」「自己有用感」を高める。
- (5) 新しい行動・生活様式に関する指導を徹底するとともに、よりよい生活習慣を身に付けさせ、心身ともに健康な児童をはぐくみ、体力、運動能力の向上を目指す。
- (6) 「特別支援教育が教育の原点である。」という意識に立ち、学校教育活動の基盤とする。
- (7) 家庭、地域、関係機関と連携、協働し、キャリア教育の視点をもち、地域を愛する子どもを育てるとともに「生活科」「総合的な学習の時間」等をとおして、地域貢献の在り方を考え実践する。

6. 指導の重点

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を組織的に進め、質の高い学力をはぐくむ。
 - ① 学習指導
 - ア 新学習指導要領改訂の背景及び趣旨の理解を図り、教育活動での実践につなげる。

- イ 「学びの深化プロジェクト」の研究を日々の教育活動の営みとし、深い学びを追究する組織的な授業改善や自己有用感を高める指導の在り方の研究をとおして、「学びに向かう力」の育成を図る。
- ウ 一人一人の学力の実態を把握し、個に応じた指導の工夫改善に努め、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、一層の学力充実・向上を図る。
- エ 「学びのリーフレット」を活用しながら、授業とつなぐ家庭学習の工夫を行い、家庭との連携を図り、学習習慣の定着を図るとともに学びに向かう力を高める。
- オ 特別支援教育の充実と授業のユニバーサルデザイン化、ノート指導等の共通理解によるどの子も安心して学びに向かう環境整備に努める。
- カ 情報関連機器の計画的な活用を図るとともに学習・情報センターとしての学校図書館を一層機能させ、町立図書館との連携を進めながら読書活動や図書資料活用の充実に努める。
- キ 保育所、幼稚園との連携を深め、カリキュラムの接続を図るとともに小中連携を推進する。

② キャリア教育

- ア 学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとするため、振り返りを行わせる。
- イ 清掃活動や係活動等を通して、自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて、主体的に考えて行動させる。
- ウ 精華町の教育資源と連携・協働した取組を促進し体験活動を充実するとともに総合的な学習の時間や学校行事、道徳科や各教科における学習等、学校の教育活動全体を通じて、体系的・系統的なキャリア教育を推進する。

③ 特別支援教育

- ア 障害の状態、発達段階、特性などを的確に把握し、一人一人の教育的ニーズに応じた個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成・実施・評価を継続・充実させる。
- イ 発達障害のある児童への効果的な支援の在り方を共通理解し、ユニバーサルデザインの授業を推進し、二次的な障害の防止に努める。
- ウ 特別支援学級の理解教育や交流教育を充実させ、一人一人の人権を大切にする基盤づくりを強化するとともに特別支援学級の理解についての啓発を継続的に進める。
- エ 関係機関やスクールカウンセラーとの連携や専門的研修を深め支援体制の構築を図る。

(2) 豊かな人間性を育む教育の推進

① 道徳教育

- ア 道徳教育の全体計画及び別様に諸活動や社会奉仕体験、自然体験等豊かな体験活動及び読書活動の充実を位置付け、道徳科の授業との関連性を明確にして、教育活動全体を通じて道徳教育を推進する。
- イ 道徳科の重点研究を推進し、授業改善を図り、日常的な指導方法の交流をしたりすることで、心に響く道徳教育の指導力を高める。
- ウ 「京の子ども、明日へのとびら」「私たちの道徳」等の親子読書や道徳の授業参観、地域人材の活用など、発信、協力をキーワードに家庭や地域と連携した道徳教育を進める。

② 人権教育

- ア 各教科、「特別の教科 道徳」、領域等あらゆる教育活動を通して人権学習を系統的に位置付け、自他を尊重する人権感覚を向上させる。
- イ 日常の人権問題に素早く対応する指導力を向上させると共に日常的継続的な指導を充実させ、人権学習資料集等で系統的な人権学習や重点的取組を実施する。

③ 生徒指導

- ア 生徒指導の三機能（自己決定・自己存在感・共感的理解）を意識した教育活動を推進する。特に自己存在感を味わうことのできる集団づくりを強化する。

- イ 「山田荘小学校のやくそく」を活かし児童自身が主体的に取り組む活動を活性化するとともに、家庭と連携し共通理解して取り組む。
 - ウ いじめや不登校・子どもの貧困問題・虐待等の研修などを充実させ、未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に向けての指導力を組織的に向上させる。
- (3) 健やかな身体の育成をはぐくむ教育
- ① 健康安全教育
 - ア 体に対する自己管理能力を育成する。
 - イ 食に関する発達段階に即した指導内容の工夫改善を行う。
 - ウ 家庭と連携して望ましい食習慣の形成や人間関係の育成に努める。
- (4) 社会の変化に対応する教育の推進
- ① 国際理解教育
 - ア 全学年の国際理解教育計画に基づく実践を確実にを行い、共生の意識をはぐくみ、外国人との交流を活発にする中で、外国語に親しませる。
 - イ 国際理解活動の探究的な学習を工夫改善するとともに、日本文化の理解に資する活動を開発する。
 - ウ 外国語活動のあり方について研修を深める。
 - ② 環境教育
 - 教育活動全体を通じて、身近な環境に対する豊かな感受性を育てるとともに、体験活動や問題解決的な学習など指導方法を工夫し、環境に配慮した生活や行動ができる態度を育成する。
 - ③ 情報教育
 - 情報通信ネットワークやコンピュータなどの情報手段を身近な道具として適切に使うなどの情報活用能力や基礎的な情報モラルやマナーを育成する。
- (5) 信頼を高める学校づくり
- ① 学校サポーター会議の充実・発展や地域支援コーディネーターの常駐等により、学校と保護者・地域との連携、協働し、地域にとっても共に生きる、共に未来を創る、ふるさととなる学校づくりを推進する。
 - ② 地域が学校を支援する、また学校の子どもたちが、社会性を育成するため地域行事の担い手になるなど地域に貢献する双方向のボランティアの継続と活性化を図る。
 - ③ 学校教育活動への理解を広め、学校だよりやホームページによる情報発信に力を入れる。
 - ④ 家庭、地域、関係機関と連携、協働し、キャリア教育の視点をもち、地域を愛する子どもを育てるとともに地域貢献の在り方について考える。
- (6) 組織体制と教職員の指針
- ① 「京都府の教員に必要な5つの力」の向上に努め、指標を踏まえ、計画的かつ効果的に資質能力の向上に向けて取り組み、魅力ある教員を目指す。
 - ② 組織的な文書管理体制を確立する。
 - ③ 教職員相互の連携・協働による組織としての「学校力」の向上を図る。
 - ④ 「正確性・迅速性・透明性」に基づく組織的で丁寧な対応をする。

7. 研究主題

「夢をもち 心ゆたかに たくましく
 学びに向かい 未来を拓く子どもの育成」

3. 児 童 数 (5月1日現在)

(1) 学年別・学級別児童数

学 年	特別支援学級 こすもす		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合計
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
男 子	3	3	11	8	12	12	10	10	14	13	13	14	14	13	150
女 子	1	1	11	12	10	11	13	13	11	12	16	16	15	15	157
小 計	4	4	22	20	22	23	23	23	25	25	29	30	29	28	307
合 計	8		42		45		46		50		59		57		307
家庭数	7		19		28		31		41		55		57		238

(2) 地域別児童数

地 域	特別支援 学 級	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
桜が丘一丁目	1	9	13	11	11	15	18	78
桜が丘二丁目	1	9	8	11	6	11	9	55
桜が丘三丁目	2	10	9	8	14	13	15	71
エスペローマ	1	0	4	6	0	2	6	19
桜が丘四丁目	3	9	5	7	14	15	7	60
栢 榴	0	3	1	2	2	1	0	9
乾 谷	0	0	2	0	0	0	0	2
山 田	0	2	3	1	3	2	2	13
合 計	8	42	45	46	50	59	57	307

4. 教職員一覧表（5月1日現在）

職名	氏名	担任	校務分掌
校長	小長谷 佳代子		
教頭	中下 和之		
教諭	笹岡 和宏	教務	教務主任、保健主事
教諭	堀田 尚平	こすもす1組	安全教育、特別支援教育
教諭	田口 由香里	こすもす2組	図書館教育、特別支援教育コーディネーター
講師	古谷 美来	1年1組	生活科、国際理解教育
教諭	川口 朋美	1年2組	音楽、教育相談
教諭	幾馬 礼奈	2年1組	国語、研究主任
講師	川畑 勇馬	2年2組	体育、生徒指導
教諭	皆川 将吾	3年1組	算数、安全教育
教諭	川田 芽依	3年2組	特別活動、理科
教諭	渡邊 菜摘	4年1組	外国語推進、環境教育
教諭	吉田 光孝	4年2組	生徒指導、算数
教諭	横井 理恵子	5年1組	福祉教育、家庭
教諭	田島 寛之	5年2組	人権教育、情報教育
教諭	北村 美都子	6年1組	給食教育、道徳
教諭	河野 啓	6年2組	キャリア教育、理科
図工専科	伊藤 純	図工専科	(精華南中学校教諭)
教諭	じん亭 紗也	(育休)	
教諭	谷村 愛	(育休)	
初任者指導教員	菊池 幸一		(精華町立東光小学校教諭)
非常勤講師	武野 満江		初任者研後補充、特別支援教育
養護教諭	山口 知加子		健康教育
事務職員	向井 博子		学校事務
町特別支援員	渡邊 朋恵		特別支援教育、個別補充学習
町介助員	寺山 真理子		特別支援教育
給食調理員	吉田 永子		給食調理
給食調理員	川本 ひとみ		給食調理
学校図書館司書	赤松 智子		学校図書館運営
スクールカウンセラー	松尾 郁美		
学校医	芳川 伸治		
学校歯科医	田上 篤		
学校薬剤師	松本 修一		

5. 学校行事計画

※新型コロナウイルス感染症の影響により行事の延期又は中止をする場合があります。

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
儀 式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文 化	ふれあいフェスティバル	ふれあいコンサート 相楽美術展鑑賞会 焼き物展	書き初め展 6年生を送る会
健康安全 体 育	身体測定 視力検査 聴力検査 専門医検診（内科・歯科・ 眼科・耳鼻科） 検尿 心臓検診 避難訓練 交通安全教室 体力テスト 非行防止教室 薬物乱用防止教室	身体測定 視力検査 マラソン前検診 検尿 避難訓練 運動会 陸上運動交歓記録会（6年） マラソン記録会 （駅伝大会）	身体測定 視力検査 避難訓練
遠 足 集 団 宿 泊	修学旅行（6年） 林間学習（5年）	社会見学	
勤 労 生 産 奉 仕	大掃除 入学式準備 プール清掃	運動会準備 大掃除	卒業式準備 大掃除

6. P T A

(1) 本年度の活動目標

- ① 会員の研修と相互の連帯感を深める。
 - ア P T A各種活動の充実を図る。
 - イ 親と子のふれあいを深め、子どもたちの校外活動の充実を図る。
- ② 専門委員会活動の充実を図る。

7. 学校運営協議会委員

	氏 名	職 種 等
1	木原 國夫	令和元年度精華南中学校学校評議委員
2	黒崎 法男	令和元年度精華南中学校学校評議委員
3	渋谷 富美子	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
4	谷 讓二	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
5	杉原 孝司	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
6	飯田 智香子	令和元年度山田荘小学校学校評議委員
7	田中 智美	山田荘小・精華南中サポーター一代表
8	山本 正來	山田荘小・精華南中サポーター一副代表
9	野崎 奈緒美	令和元年度山田荘小学校P T A会長
10	岡田 智香	平成28年度 精華中学校P T A本部役員
11	小長谷 佳代子	山田荘小学校 校長
12	中下 和之	山田荘小学校 教頭
13	深田 守	精華南中学校 校長
14	杉本 美幸	精華南中学校 教頭

8. 学校施設

校地面積	29,000 m ²
校舎面積	7,243 m ²
体育館	959 m ²
運動場	10,950 m ²
プール	25m×6 コース、 6m×10m

